

3 「公共施設カルテ」を作成し市ホームページで公開

公共施設の現状を明確化し、市民と共有します

本市の保有する公共施設について、施設ごとに建物の規模や経過年数、かかっている費用などの現状を見える化し、公共施設のあり方を市民の皆さんと共に考えていくため、「公共施設カルテ」を作成し、市ホームページで公開します。

1 「公共施設カルテ」の概要

本市の保有する816の公共施設を機能ごとに分類し、施設ごとに土地・建物情報や維持管理情報、利用情報、改修履歴情報などをまとめた「公共施設カルテ」を作成しました。

施設カルテは、施設のマネジメントを効果的に行っていくための基礎資料として、また、市民の皆さんに施設の現状を知っていただくためのツールとして活用していきます。

2 公共施設の課題

- ・本市の所有する公共施設は、整備後30年以上が経過する建物が占める割合が、施設数ベースで約48%、延床面積ベースで約64%となり(令和4年度末現在)、今後老朽化に対応した大規模修繕や更新のニーズが高まることが予想されます。
- ・今後、生産年齢人口の減少による税収の減が見込まれるなど財政状況はより厳しさを増し、修繕や更新の予算は減少していくことが想定されます。

3 公共施設マネジメント

こうした課題を解決するため、本市は3つの基本方針に基づいて公共施設のマネジメントに取り組んでいます

- ① **財産管理の見直し**⇒ 情報の一元的管理、全体を踏まえた適正な施設管理、全庁的な取組体制の構築など
- ② **質の見直し**⇒ 公共施設の長寿命化、民間活力の活用、UD化の推進など
《これまでの取り組み》市役所本庁舎や体育施設、小中学校の改修、指定管理者制度の導入など
- ③ **量の見直し**⇒ 人口や財政規模に見合った施設の適正配置など
《これまでの取り組み》豊田支所のアミューズ豊田への移転、豊岡中央交流センターへの機能集約など

4 「公共施設カルテ」の公開

日時 令和5年3月13日(月) 13時から